

磐城時報

八廿夕
福島縣石城郡平町新屋町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷所 石城郡平町新屋町十四
電話 二五〇
發行所 石城郡平町新屋町十四
電話 二五〇
廣告料 一月五圓 三月十圓 半年二十圓 一年四十圓
代金 一月五圓 三月十圓 半年二十圓 一年四十圓
日刊（日曜、祭日）休刊

小名濱商港の豫算 前年通り計上

内務省技術課長が 二十七日小名濱調査

小名濱築港改修問題は屢々報導で收穫皆無を豫想されてゐるの
したるが如く本縣に於ける大事業で、郡内の平年作十六萬石に對
業として本年度から向ふ六ヶ年
間の繼續事業として行ふ事とな
り縣會の協賛を経たが、不幸に
して議會が解散となり國庫補助
が不能で一年延期の止むなきに
至つたが内務省では愈々前年の
方針通り豫算に計上し他くまで
其實現を期してゐるが、内務省
土木局第一技術課長前川卷一氏
は二十六日來郡し中川土木課長
齋藤、山口兩技師等と二十七日
午後小名濱に來り二十八日詳
細なる視察調査をなす筈である

磐銀重役會

二十七日開會

平町磐城銀行では廿七日午後二
時から重役會を同行に開いた結
果今廿八日から更に四週間休業
することとなつたが銀行の資産
は白蘭二百三十三萬で價格は五
五掛最高五十三圓、最低四十六
圓十錢、平均四十九圓五十錢で
目下の處價格は安いが出廻り最
盛期と思はれる九月一日、二日
頃には多少の高値を示すであら
うと言はれてゐる。

結局減收

二十五日の村會も流會 愈々平署で乗り出す

石城郡地方の水稲は變態的天候
に祟られた結果害虫が發生した
上に一般に發育不良に陥つたが稻
熱病發生の状況について石城郡
駐在神尾農林技師の調査した處
に依ると最高の被害地は小名濱
方部で百七十町歩に亘り泉其他
二十ヶ町村の被害地二百十七町
に議論百出して何等纏まりつか
るる上に山の手方部が發育不良
再選を主張し、政友會では現助
平務務署では十八日から廿一日

政・民勢力伯仲し

決定せぬ三阪村長 澤渡村長

平町聯合青年團が目下計畫中の
御大典記念事業は全國にはとん
ど例がないので全町民から實現
を熱望されてゐると同時に縣當
局並に一般縣民から實施後の成
績を大に期待されて居る、その
計畫案は、町民を脅威させて居
る町債を償還せんがため全町か
ら一月當り一ヶ月一錢づゝの寄
付を受け寄付金は町債の償還に
あて利息を青年團の基本財産に
するもので全町を五千戸と見て
一ヶ月五十圓、一ヶ年六百圓、
十ヶ年後には少くも一萬圓にな
り、数十年後には識らず知らず
町債を償還出来る名案である。

印紙の脱税

桑泥つかまる

平町四丁目居住人力車夫小川村
大字上小川字峯根生れ草野米吉
等々を懐中無一文で飲み廻つ
たがこれは税法改正の結果仕切
書と送り状の印紙税を免除した
ためで右検査の結果脱税した件
数は五百九十三件で前年に比し
四十件増加した、またその人員
は二百六十七人、通帳三百四十
七件、判取帳七十九件、その他
百六十七件であるがその脱税事
實の大部分は期限の経過後のも
のを使用したものばかりで微罪
なので追徴金を徴收し將來を訓
戒するに止めることになつた。

勿來蘭市場

初取引成績

勿來蘭市場は二十七日秋蘭取
引のため開場したが初取引
は白蘭二百三十三萬で價格は五
五掛最高五十三圓、最低四十六
圓十錢、平均四十九圓五十錢で
目下の處價格は安いが出廻り最
盛期と思はれる九月一日、二日
頃には多少の高値を示すであら
うと言はれてゐる。

御大典記念事業に 平青年團の名案

一戸から一錢宛の寄附を仰ぎ 平町債を返済する

平町聯合青年團が目下計畫中の
御大典記念事業は全國にはとん
ど例がないので全町民から實現
を熱望されてゐると同時に縣當
局並に一般縣民から實施後の成
績を大に期待されて居る、その
計畫案は、町民を脅威させて居
る町債を償還せんがため全町か
ら一月當り一ヶ月一錢づゝの寄
付を受け寄付金は町債の償還に
あて利息を青年團の基本財産に
するもので全町を五千戸と見て
一ヶ月五十圓、一ヶ年六百圓、
十ヶ年後には少くも一萬圓にな
り、数十年後には識らず知らず
町債を償還出来る名案である。

飲んだ勘定の代りに 借りた自轉車をおく

二名の人力車夫捕はる

平町四丁目居住人力車夫小川村
大字上小川字峯根生れ草野米吉
等々を懐中無一文で飲み廻つ
たがこれは税法改正の結果仕切
書と送り状の印紙税を免除した
ためで右検査の結果脱税した件
数は五百九十三件で前年に比し
四十件増加した、またその人員
は二百六十七人、通帳三百四十
七件、判取帳七十九件、その他
百六十七件であるがその脱税事
實の大部分は期限の経過後のも
のを使用したものばかりで微罪
なので追徴金を徴收し將來を訓
戒するに止めることになつた。

炭礦の壽命

今後百年

常磐地方の石炭層がどれだけ
あつて各炭礦現在の採炭量で
押し進めば今後何年間炭層
が根絶へとなるかは今日まで
何人も豫測出来なかつたこと
が我が國地質學者の權威者
で早稲田大學理工科教授徳永
博士は非常に興味をもつて十
數年來この研究を續けた結果
漸く確證を得たので今回研究
の結果を公表した、これによ
ると北方は山脈の中心、南方
は太平洋の沿岸が最長限度で
地下三千尺までの間に石炭層
が、現在の状態では地下二千
尺以上の採炭は困難で一ヶ年
四五十萬噸づゝ採炭すると今
後百年ならずして根絶するの
ので各炭礦では石炭の化學加
願ひ出た。

驚いた!!!

平・加納活版所の印刷物

工の研究に着手し近き將來に
は石炭をそのまゝ燃料に供し
ない方法を講ずる様腐心して
ゐる。

役場書記の 舊惡曝露

湯本町大竹兵馬(四九)は大正十 三年同町役場書記を勤めてゐる うち一部町民に對し不正な納税 通知書を出し千二百圓を騙取し た事此程に至つて發覺し平署で 目下取調中である。

惡周旋屋に 説諭願

四倉町字仲田人事周旋業邊邊
太郎(四五)は本年五月五日好間
京府南千住町栗原精米所に六ヶ
年間で三百五十圓の契約で住込
ませ前借金の一部を親元に渡さ
ぬので鶴治は四倉器に説諭方を
などで非常な難詰を呈すべく
平署では舊十四日から三日間
夜間の自動車運轉を禁止した
盆踊りの櫓は平町で數ヶ所建
てられる模様であるが、四丁
目などでは既に町内の事業と
し郵便局敷地の廣場にやぐら
を立て角の和泉屋旅館の家根
に張り場一面を白晝化する投
光器の一大照明装置をして踊
子が見やす手ひく手のみじさ
を見せる仕組である。何は兎
もあれ名物盆盆盆は愈々今晩か
らで平町は例年の通り火の海
人の波と化すであらう。

灯の海、踊りの波

華やかな平全町 今晚から名物盆踊り

二十七日(舊十三日)夜は愈々
盆の迎ひ火が焚かれ石城地方
には全く盆盆盆盆盆盆盆盆盆
来た。變態的であつた土用干
の天候は一雨中止つて盆中
の天候は大抵に於て降らぬと
見込みがあつたので待ちに待
つて来た踊り子の意氣込みは
大したもので變装用のかつら

香奠の禮返しを 實用品と引替る

最近著しき疲弊を傳へられて
ある農村が如何にしてこの苦
境から通れ出づべきか、如何
にして振興の實を擧げ得べき
かは各方面の研究によつて種
種適切なものが講せられて
るが、斯うした傾向にある昨
今植田町地方にはこれが對策
の一方法として行はれてゐる
ものが葬儀の引物として配ら
れるものが晒木綿とか敷布と
かを用ひられるのでこれを賣
ひ受けた各自が數品を取纏め
て實用品の辨であるとか綿木
綿であるとかのものゝ呉服店
へ交換を申込んで來ると言ふ
ので當業者はこぼしてゐるが
農村振興の對策も斯うした方
面にまで留意されるに至つて
は算盤をぬきにして實に結構
な事でありますと某呉服店主
は語つてゐた。

坑夫の花賭博

石城
郡湯本町字八仙入山炭礦坑夫小
島一美(二〇)方で二十五日午後
三時坑夫垂石松太郎(四四)石倉
松次郎(四五)三瓶隼人(四六)住
所不定賭博前科十二犯大津藤次
郎(四四)の五人が車座となり現
金をかけて賭博中を平署員に踏
込まれ一網打盡に檢査され目下
嚴重取調中。

一の井の 當籤番號

平町田町西洋料理店一の井では
八月分の福引景品賣出しの抽籤
を二十六日行つたが、當籤番號
左の如し。
▲一 53
▲二 253
▲三 589
▲四 792
▲五 1025
▲六 775
▲七 802
▲八 813
▲九 156
▲十 417
▲十一 441
▲十二 697
▲十三 849
▲十四 962
▲十五 978
▲十六 1036
▲十七 947
▲十八 706

鳥御料理
うなぎ
蒲焼
魚榮
平町南町平館隣り
電話四二四番

時報文藝 涙の斷章

佐藤露 吟
あゝ涙は熱情のあらはれであ
る。涙を見て涙に、まごはさるゝ
心も純情のあふゝをばくさで
綺麗な女性を見れば
何かしら目頭の熱くなるを覺
える
其れは心に忘れかねるものが
あるからだ
目頭が熱くなつても
冷やかな私の反抗心は
虚りの行動を喜び笑ふのだ
ガラソとした空では
たゞいてもけつても反響のな
い私の心は感受性を育てゝある
嬉しさに泣く時
其顔が輝やかしいまでに
活氣をおびる
悲しくも涙あれば
どこか心の隅で
氣強さが感じられる。

醬油と味噌
山崎合名會社
東京支店
上野車坂四三
電話 下谷五七二番
振替東京六八三二二番

釜屋商店
和洋銅鐵
金物問屋
磐城セメント會社特約店
電話 一九三九番

ラチオの御用なら
平町車場前高野自轉車店ラチオ部へ御用命を願ふ
◎三球式 (附屬品一切付キ)
A 金百拾圓也 B 金八拾五圓也 C 金七拾圓也
◎一球式 BA 蓄電池 (レシパー付)
金 拾 參 圓 也
部分品、ラチオ製作、取付工事其他
高野自轉車店ラチオ部
電話 三二六番
仙臺放送局指定加入申込取扱所

赤心堂病院
外科一般、耳鼻科、花柳病科
婦人科 産科、婦人科
内科 X 光線科
平町字田町 (電話四七五番)

大和田醫院
耳鼻咽喉科
電話 一七〇番

共ト存共△
融金ノ易簡△
蓄貯ノ味趣△
圖堅ト意誠△
無城
電話 一七〇番

平町紺屋町
吉田眼科
電話 六八番

陽君
皮膚病 専門
婦人病 専門
淋病 専門
十二指 専門
腸胃病 専門
院病村松

奇妙に
ハリダスリ「不思議膏」
▲主治効能 神経痛、うちみ、くちき、肩のこり、筋の痛
リウマチス、腰の痛、手足の痛、胃の痛、齒痛
其外疼痛の個處へ用へて不思議に効あり。
▲薬價 拾四枚入金五拾錢、八枚入金參拾錢
五枚入金貳拾錢、二枚入金拾錢
平町四丁目 (電話百四十四番)
特約店 小野屋藥舖

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目
電話 三番

有りかたき文明の大發明
キング (女子)
金三・五〇
平町田町 宇佐美藥局

靴とカバンは
福山に限る
平町役場前 福山支店
阿部石炭商店
電話 三三七

平町役場前 福山支店